

# 製品取扱い説明書



この度は、当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱い説明書をお読み頂き、正しくお使いください。

製品を未永くご愛用頂き、また事故防止などの安全のために「安全上のご注意」と「取扱い上のご注意」、別添の「使用上のご注意」を必ずお守りください。取扱い説明書は必ずご使用時にいつでも読むことができるように大切に保管してください。

DN

## 家庭用品品質表示法に基づく表示

外形寸法 幅332mm x奥行450mm x高さ740mm

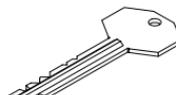
天板の表面材 プリント紙化粧板

表面加工 \_\_\_\_\_

取扱い上の注意  
イ. 直射日光または熱を避けてください。  
ロ. 加熱したなべ・湯沸し等を直接置かないで下さい。  
ハ. 著しい汚れを落とす場合は、うすめた中性洗剤を使用して下さい。

製造元 小島工業 株式会社  
03-3674-2251

## ● 付属部品



鍵ヒネリ  
2本組 x 1Set

## 安全上のご注意 (必ずお守りください。)

表示内容を見逃して誤った使い方をすると、人が重傷を負ったり死亡の可能性が想定されるケガや物的損害の発生が想定され大変危険です。以下のことを必ずお守りください。

引出を最後まで引き出したまま、引出に手をかけないでください。破損したり、転倒する恐れがあります。

ワゴンの上に乗ったり、激しく動かしたり、押しで遊ばないでください。

引出の開閉には十分注意してください。手をはさんで思わぬケガをする事がございます。

## 取扱い上のご注意

**警告** 火災などによる人身事故にご注意ください。

暖房器具の前など高温な場所で使わないでください。

お客様自身で修理・改造はしないでください。

ワゴンの上に乗らないでください。(転倒してケガの原因)

引出を最後まで引き出したまま、引出に手をかけないでください。(転倒してケガ・製品破損の原因)

**注意** 安全と製品保護のため正しくお取扱いください。

ワゴンの前輪キャスターにはストッパー機能がついています。移動を止めたいときにはレバーを下げて下さい。

使用中にボルトや金具にゆるみが生じた場合は、早めにドライバー等でしっかり締めなおして下さい。

(くらつき・落下の原因)

**お願い** 製品を未永くご使用いただくために、以下のことについてお守りください。

棚板の上に熱いものをのせないでください。(コゲつき・変色の原因)

直射日光のあたるところ、温度の高いところ、湿気の多いところでは使用しないでください。(反り・割れ・変色・カビの原因)

製品にシールやセロハンテープ等を貼り付けしないでください。(表面材がはがれる原因)

シンナー・ベンジン等を吹き付けしないでください。

お手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。汚れのひどいときは、中性洗剤をうすめた液か石けん水に布を浸し、よく絞ってから拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。

## 取扱説明書

### ワゴン 引出しストッパー解除の方法(3段共通)

#### ご注意

引出しを外したり収納する際は、必ず大人2人以上で慎重に行ってください。ワゴンを転倒させてケガをしたり、床、壁等や製品を傷つけたりすると危険ですので十分注意をして行ってください。

引出しストッパーの解除は1段ずつ行ってください。引出しのレールが不用意に飛びだしてケガをしたり、破損したりする恐れがあります。十分ご注意ください。大引出しの手掛け部分にキャスターがございます。キャスターに指をぶつけたりはさんだりして思わぬケガをする事がございます。十分ご注意ください。

引出しのレールには、ワゴンの移動時等に不必要な開閉を防止するストッパー機能がついています。

ご使用中、引出しの出し入れが重いと感じられる様な事がありましたら、下記の要領にてストッパー機能を解除する事により解消する事ができます。

引出しを取り外す際は、ワゴン本体の前側に付いている左右2個のキャスターに、ストッパー機能が付いております。

ワゴンが不用意に動いてケガをしたり壁等にキズをつけない様、必ずストッパーをセットしてください。

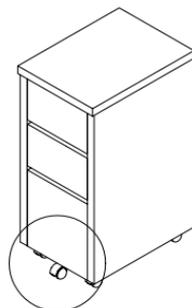
引出しを全開にして、両側にあるスライドレールのA図のレバーを右側は下げ、左側は上げた状態のまま、引出しを引き出して外してください。

本体内部左右に付いているスライドレールの後部(奥)にある「ストッパー(ゴム)」をB図の様にマイナス(-)ドライバー等で外してください。この時、ケガをしたり製品にキズをつけたりしない様、慎重に行ってください。

レール内部のベアリング部を前方に移動してください。

(ベアリング部が後方にあるまま引出しを差し込みますと、ベアリング部が破損します。)

本体内部に付いているレールに引出しの左右に付いているレールを平行になる様に差し込んでください。ピッタリとはまりましたら、そのまま多少強めに押し込んで引出しを元通りに収納すれば完了です。押し込む際にはレールの構造上、多少きつくなっておりますのでケガをしない様、慎重に行ってください。



キャスターにご注意ください。

